

本日挨拶予定の局長が議会中のため来られませんので、代わりに、都市開発部長の早坂が一言ご挨拶を申し上げます。

エリアマネジメントシンポジウム 2015in 仙台の開催にあたりまして、一言、ご挨拶を申し上げます。本日、エリアマネジメントのシンポジウムが、仙台市で開催されますこと、また、まちづくりに関心のある方々の多くの参加となりましたことに感謝申し上げます。

会長様のお話にありましたように、震災に合わないがゆえに、震災復興事業となりませんでした駅東地域のまちづくりにつきましては、その後、市としましても駅西側の都心のようにするべく、都市改造事業としての土地区画整理事業を行ってまいりましたが、約 50 年の長きにわたり、地域の皆様には大変なご苦勞をおかけしてまいりました。事業が長期となりましたことにつきましては、市としましても大変、心苦しい、申し訳ない思いでございます。しかし、基盤整備が完了となりました今後は、地域の活性化、発展に地域の皆様とともに積極的に、本日のテーマにもあります、エリアマネジメントを活用するまでにより、地域主体のまちづくりを加速してまいりたいと思います。

エリアマネジメント活動が海外、日本各地で活発に行われておりますことは承知しており、本市におきましても、幾つかの地区が取り組みを始めております。本市としましては、今後の人口減少時代の到来にあたり、活気ある都市として発展すべく、経済成長デザイン戦略等を掲げ、地域主体によります元気な賑わいのある多様な地域主体のまちづくりを地域の方々と共に進めております。今後におきましては、地域特性やまちづくりの内容によりエリアマネジメントは重要なまちづくりとなると考えております。

本日のパネルディスカッションにおきましては、今後のエリアマネジメントによるまちづくり推進におきまして重要なポイントについて先進事例での創意工夫、ご苦勞だったお話があると思いますし、テーマにありますように、公共性・公益性あるまちづくり活動、特に、持続させるための活動財源はどうするのか、稼ぐエリアマネジメント、集客のあり方、そして、公民連携のあり方、という、地域主体のまちづくり、エリアマネジメントの大変重要なポイントにつきまして、まちづくり団体、国、地方公共団体、そして多くの参加頂きました方々とともに考え、学び合う機会に感謝したいと思います。

今後におきましては、今回の機会を生かさせて頂き、地域主体のまちづくりを、一層、市民の方々、地域の方々と連携しながら、また、国土交通省様のご協力を得ながら積極的に進めてまいりたいと思います。

また、会場内のまちづくりサロンにおきましては、仙台市内での地域主体のまちづくりの取り組み、活動を展示させて頂いておりますので、是非この機会に、ご覧いただければと思います。

最後に、今回のシンポジウム開催にあたりご尽力頂きました、御手洗教授、また、開催主催者である仙台駅東エリアマネジメント協議会及び関係者の皆様に、感謝を申し上げます。簡単ではございますが、挨拶とさせていただきます。

